

第32回トーマスカップ 東京都選抜少年サッカー大会

競技運営

担当各位

1. 2016年11月26日(土) 27日(日)

2. 会場 府中市朝日サッカー場

3. 試合開始時間と開会式

第1試合 9時00分

開会式 11時00分

参加資格 (1) 2016年第4種に登録された6年生の選抜チーム。

保護者の同意があり、スポーツ安全傷害保険に加入していること。

(2) 登録選手は24名とし、大会直前に出場不可能な選手が出た場合は追加登録を認める。

また、追加登録ができない場合は減員のまま参加できる。

競技方法 (1) 4チームリーグ戦 (予選リーグ) 11月26日

順位リーグ 11月27日

リーグ戦の順位はハンドブックに依る

(2) 試合時間は45分(15分ハーフの3ピリオド)

* 各ピリオド間のインターバルは選手の総替えに要する時間のみとする。

3ピリオドのサイドはコイントスで決定し、約半分が経過したところでサイドをチェンジする。タイミングは審判に委ねる。

* トーナメント戦では、規定の競技時間内に勝敗が決しない場合は試合終了時に出場している中の3人の選手により行い勝敗を決める。

※ 決勝戦も同様としPK戦を行う。

* トーナメント戦でのPK戦は特設コートで行う事もある

* 登録選手は24名とする。

* 試合ごとに、登録選手を前半と後半と後半で交代し全員出場する

競技規則 大会実施年度の(公財)「日本サッカー協会規則」及び「8人制サッカールール」

依る。但し、以下の項目については本大会規則を定めこれを優先する。

* 交代は怪我等で、試合を続けられないと認められた場合にのみ行える。

* すべてのピリオドに続けて出場することは認められない。

* 但し、事故、怪我等で出場が困難の時に限り他のピリオドに出場することが出来るが、最大2ピリオドまでとする。

* 本大会において、退場を命じられた競技者は、次の1試合に出場できない
(警告回数が2回に達した場合も同処置とする)

それ以降の処置については本大会規律委員会で決定する。

- * 退場者がでた場合、直ぐに競技者を補充し8人で試合をつづける。
ピッチに8人いることが原則である。
- * 試合途中怪我などで治療を行っている時、主審判が認めた場合のみ交代選手が入れ事ができる。(治療が済んだら元に戻る事。) 緊急避難として、
- * 交代、補充としてカウントはしない。同一選手の連続出場は2回までとする。
- * ベンチに入ることができる人数は、引率指導者3名とメンバー登録されている選手全員が入る事ができる。 但し、ビブスを着用する
- * 引率指導者2名は必ずベンチに入らなければならない。
- * テクニカルエリアは設置しない戦術的指示はベンチで、一人の引率指導者が伝えことが出来る
- * 負傷した競技者の程度を確かめるために入場を許される引率指導者の数は1名とする。
- * 本大会に参加する競技者は、登録選手証(写真貼付されたもの)持参すること。不携帯の競技者は当該試合への出場を認めない

競技運営について

1) チームベンチ

- * ベンチは、ピッチに向かってトーナメント表の左が左側ベンチ、右が右側ベンチを使用して下さい。
 - * 交代要員は、ユニフォームと異なる色(ビブス等)を着用してください
- (1) 試合前のウォーミングアップ会場
- * 指定された場所で 試合の前、間はピッチの使用は許可しない。
- (2) 試合中のウォーミングアップ
- * ベンチ横のスペースをご利用下さい
 - * ハーフタイムのピッチは使用できません。
- (3) メンバー表の提出
- * 各試合30分前に選手証と共にコート本部へ提出して下さい。
 - * メンバー表は指定用紙に記入しコート本部へ提出して下さい。
- (4) ユニフォームについて
- * 正副・2着を用意すること。(パンツ、ストッキングも含む)
背番号・胸番号のついているもの。
上記の番号は選手固有のものとする。
 - * アンダーシャツを着用する場合、その袖の色はシャツの袖の主たる色と同じでなければならない。
 - * ストッキング、テープ又は同様な材質のもの外部に着用する場合、それは着用する部分のストッキングの色と同じでなければならない。

* それぞれのゴールキーパーは他の競技者、主審、副審と区別できる色のユニフォームを着用しなければならない、同じチーム内でフィールドとゴールキーパーが同色のストッキング、シャツ、ショーツを着用することは、本大会では認めない。

注 ゴールキーパーの負傷退場等により緊急避難的にはフィールドプレーヤーが、ゴールキーパーに代わる場合については、その競技者の番号等の表示を義務づけるものではない。

* ユニフォームチェックは試合開始40分前までに済ます事。

(5) メンバーチェックについて

* 選手は試合開始10分前に指定集合場所でチェックをうけること

(6) 挨拶について

* 試合終了後のチームベンチへの挨拶は、今大会では行わない。なお、審判へも同様とします。

6 その他

キックオフ前後のセレモニーは行わない 決勝を除く

暑熱下においては前後半の中程で飲水タイムを採用いたします

実施はWBGTの計測、熱中症予防のための状況データで大会本部で決定し

実施を場合は、各セクション、チームに伝える (キックオフ30分前)

大会期間中、試合中の怪我等については、応急処理は行うが、その後対応は各チームで責任を持って処理をする

負傷した競技者の再出場は{安全な大会運営}{選手の健全な育成}の観点から出場させないようにする。

救急、応急用品は各チームごとに携帯する事{アイシング用の氷、氷嚢など}

保険証または、コピーを携帯する事。

(7) 会場関係

大会当日会場に来る指導者、保護者、選手、関係者、に会場使用の注意事項を徹底する。

ハンドブック記載の中央大会参加に関する要件を厳守する。

暴力も暴言もない安心安全な大会運営 競技部

指導者が選手を引率する際の留意事項

■ **選手個々の権利、尊厳及び価値を尊重し平等に取り扱うこと**

■ **選手の福利及び安全最優先で扱うこと**

■ **身体に対する暴力行為を行わないこと**

■ **不適切な言葉を使用しないこと**

■ **身体に対する暴力行為や不適切な言葉の使用を放置しないこと**

※上記事項に反する行為が行われた場合は、当該チーム・指導者・選手に対し大会役員により事情聴取が行われる場合がある。